寫眞週報

情報局編輯
九月十六日・第二百冊八號・十七ン

九月二十日は航空日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時の立札

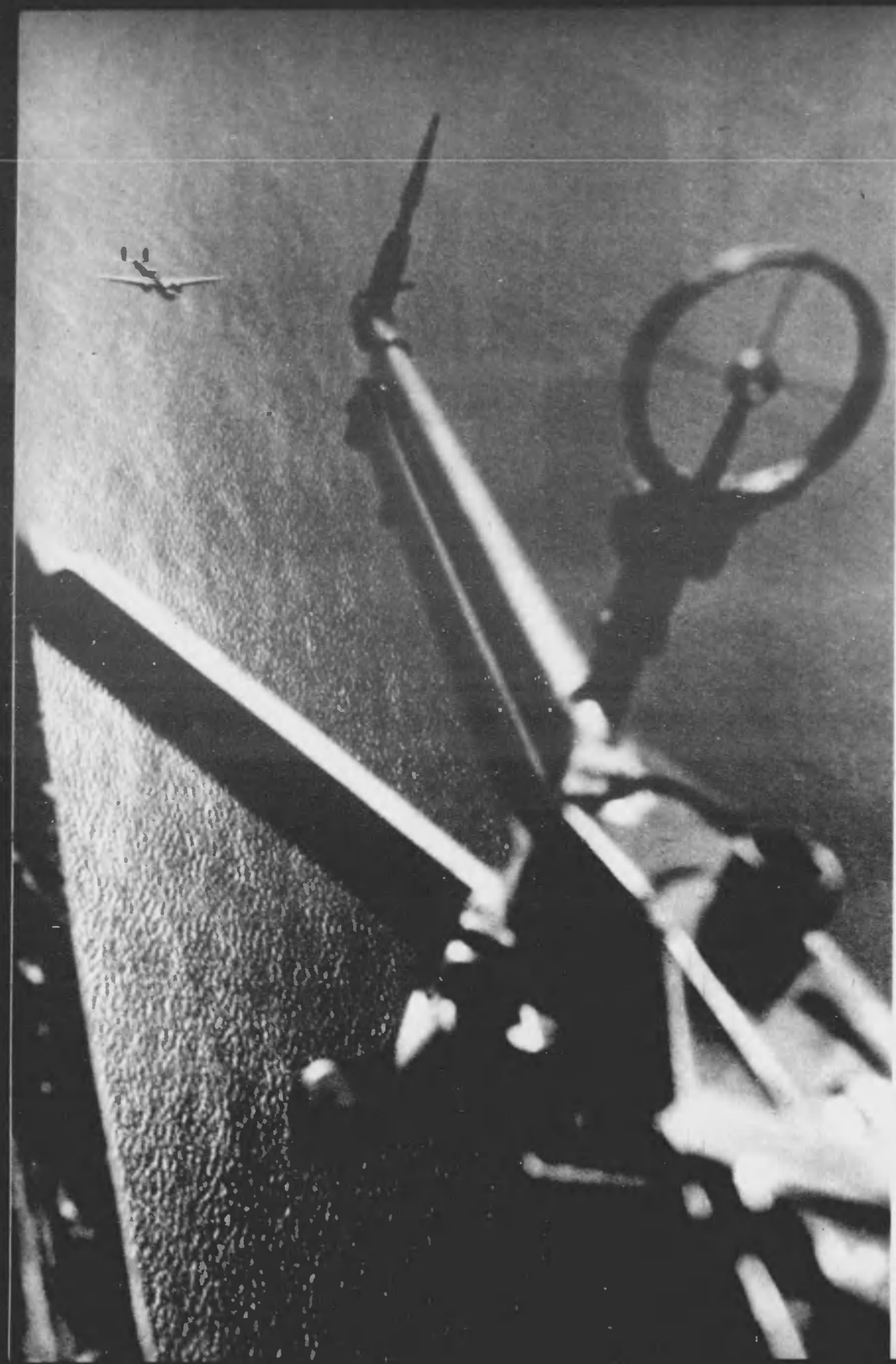
軍神加藤少將が擊墜マークを描いてゐられる。しかし、これは少將が愛機の胴ではなく、僕たちの心の上に『後の空をしつかり頼みますゾ』といふマークを描いてゐられるのに違ひない。さうだ、僕たちはこのマークを胸に秘めて、大東亞の空にいかう

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

敵の反攻睨んで

作戰地域がひろがるにつれて哨戒艦もまた延びてくる。哨戒艦は二重三重と張り廻らされてゐるが、その尖端を受持つものは遠く敵に向ふ飛行機と同じ特性をもつてゐる潛水艦である。緒戰以來轟々たるわが海戰戰果の蔭は常に靜乎として哨戒の任務につく尖端部隊の慧眼にあつた――渺々たる太平洋上わが海鷲は敗戰にいらだつ敵の反擊にそなへて萬全の哨戒にけふも戰翼を張る

撮影　山鳴海軍報道班員



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

敵空軍の恐怖的

隼

⇧ 調子は上々。出動直前の陸軍新鋭戦闘機『隼』

軍神加藤少將の愛機は『隼』だつた。大東亞の青空を疾風のやうに翔けめぐつて敵空軍を片ッ端からたゝき墜したその威力の物凄さには、アメリカの戦闘機カーチスP—40も、イギリスの戦闘機スピットファイアーも、ホーカーハリケーンもつひに尻尾を巻いた。實に『隼』は世界一の戦闘機だ

工員の腕と魂が『隼』を生んだ。整備員の腕が『隼』を育んだ。これを操つたのが肚と魂の人、軍神加藤少將だつた。かくて『隼』は敵空軍の恐怖の的となつた。今日その『隼』はさらに進歩改良されてゐる。この機を駆る第二、第三の加藤少將も日本の航空隊にはうんとある。そして更にこれに續くのは僕たちだ。こんどは僕たちの番だぞ。僕たちこそは断然明日の日本の、加藤少將だ

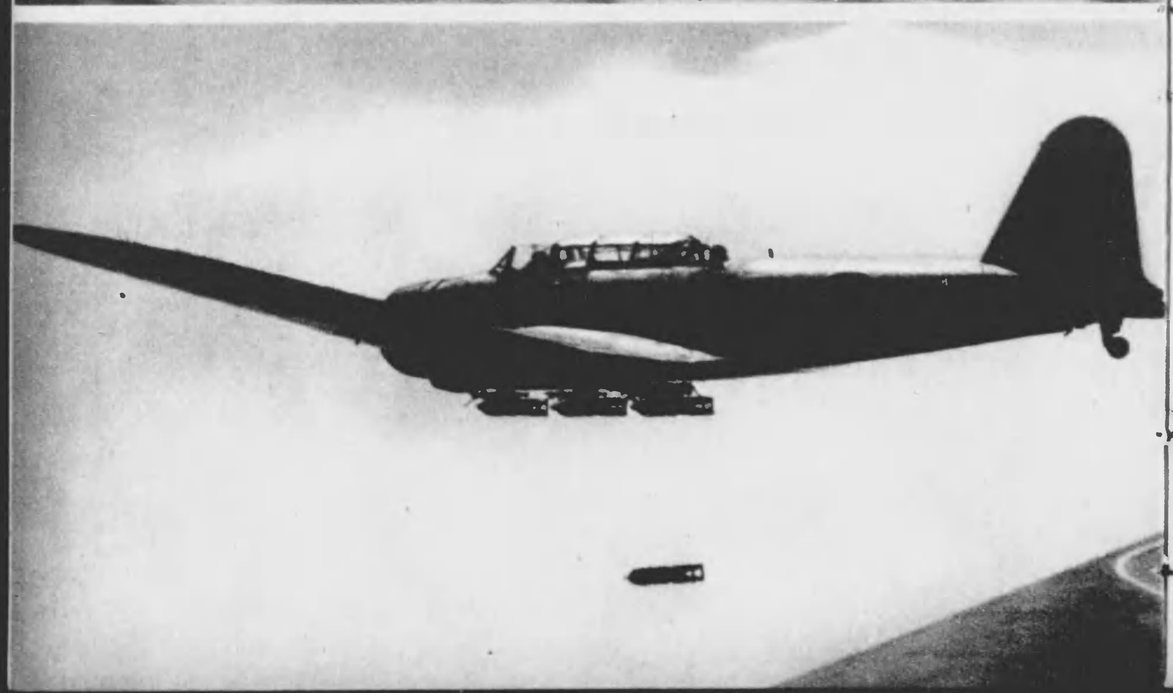
⇧ 指揮官機につゞいて編隊は大きく旋回しだした

⇧ 積乱雲の陰から見敵必殺の二機は猛然急降下、敵機に挑みかゝる

撮影　陸軍航空本部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

我に幾倍の新鋭空母あり



太平洋を縦横に活躍するわが航空母艦の偉容

撮影　海軍省

『敵艦見ゆ』勇躍母艦を離れる艦上爆撃機

開戦僅かに九ケ月、既に全太平洋水域はわが海鷲の馬翼下にあつて、敵反攻の餘地をのこさぬかに見える。だが、最近アメリカは空軍第一主義に徹し、軍艦や船舶のうちで活用し得るもの、變更し得るものは總て航空母艦に改造してその補充に狂奔、飛行機も全力をあげて充實しつゝあると傳へられる。これは、在來の航空母艦が殆んど撃滅されたにも拘はらず、さきの第二次ソロモン海戦には新型航空母艦が活動してゐることによつても明らかであり、アメリカが口癖のやうにこの一兩年のうちに數十隻の母艦を完成、數万機の飛行機を充實して對日反撃を強行すると呼號してゐることも決して忘れてはならないのである

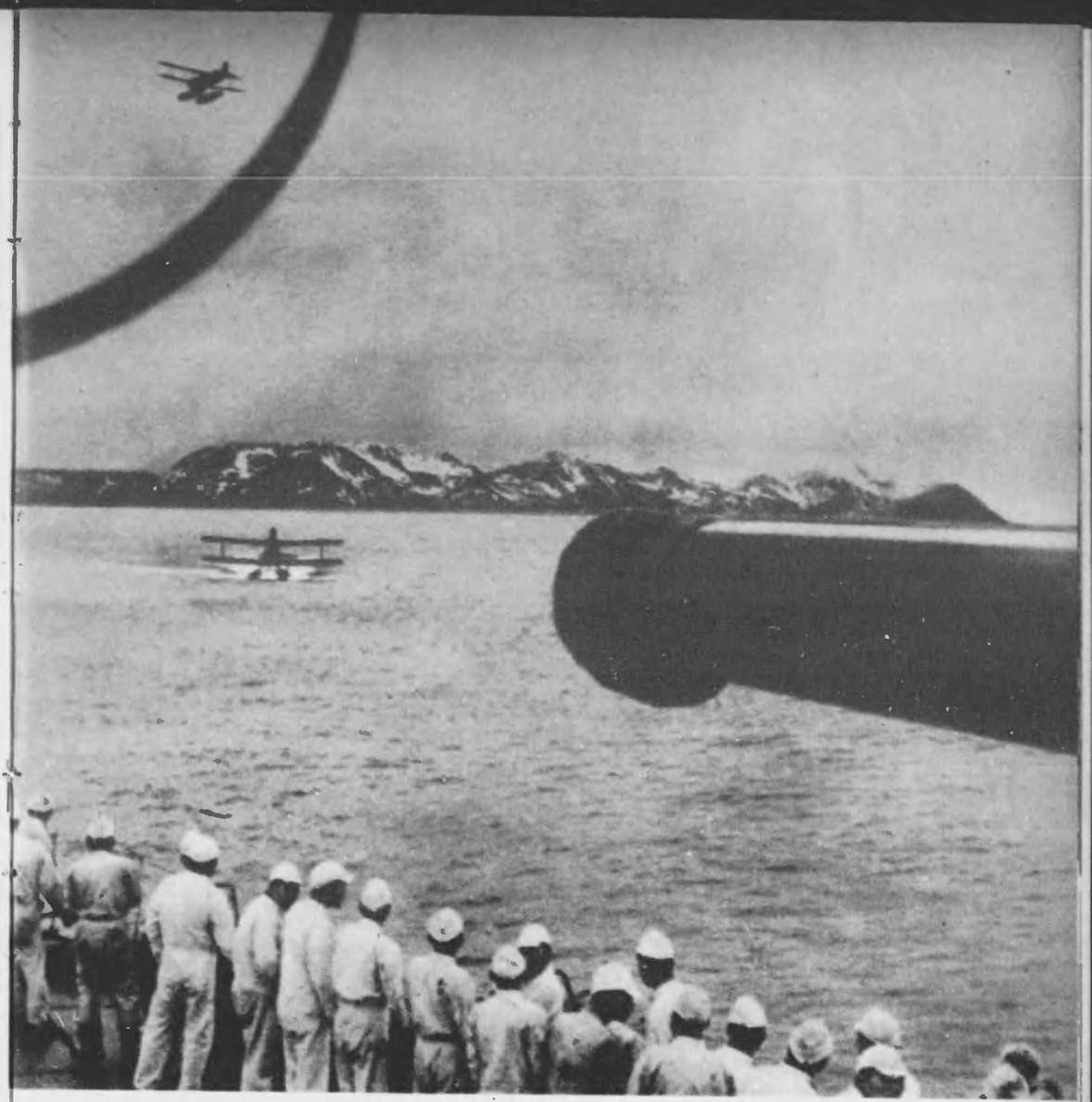
もちろん、帝國海軍が、敵戦力の増強を徒らに默視してゐるわけはなく、これを個個に撃破し、常に有利な戦略的態勢を保つて、やがては敵戦力の徹底的撃滅を期してゐるのであるが、われ〳〵は、その航艦、その飛行機製作にも絶對に負けてはならない。敵が十隻の母艦を造るならば、われわれは、二十隻の新鋭母艦を進水させよう。この決意があつてはじめて、太平洋に不敗の態勢を築き得るのである

今や、北はアリューシャンから南はインド洋まで、荒天を衝き、酷暑ををかし、日夜わが海の荒鷲は、基地から、母艦の甲板から、米英撃滅に向つて飛立つてゐる

暴雨ををかし必殺の攻撃へ、一糸乱れぬ編隊陣

必中の一弾、一隻が敵艦めがけて……

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records



⇧ 北方の基地にわが哨戒機は任務を終へて帰つた

⇧ 最近の情報によれば、米國アリューシャンの基地を出發して、わが本土を空襲し、支那大陸の安全地帯へ還入しようと準備中であるといふ。来らば来れ！　われにも北の海へがあるーアリューシャンのわが基地

海戦にしても陸戦にしても大抵の場合先づ戦端は空中戦によつて始められる。この空中戦に破れるならば戦ひは五分の負けである。論より證拠、大東亞戦におけるわが航空兵力の壓倒的な勝利は直ちに陸上部隊を、水上艦艇を誘導して赫々たる全局的な戦果を挙げる基因をつくつたのである

見敵必殺の意氣に燃えて北に、南に大空を所狭しと活躍するわが荒鷲は、勝つて驕らず敵に止めをさす日まで偵察に、戦闘に、爆撃に、敵の出鼻々々とたゝいて全精力を傾けてゐる

⇧ 敵が全弾を命中させて歸らうとするとき、敵のカーチスホークがけなげにも後ひ上つて來た。……引きつけておいて射つたぞ……こんなふうに落ちてゆく……同僚や整備員に武勇譚をする搭乗員

ソロモン群島を中心として廣漠な海域に、わが作戦は展開されてゐる。晴天の南空をきつて流電は響渡り畫間撃滅に向ふ

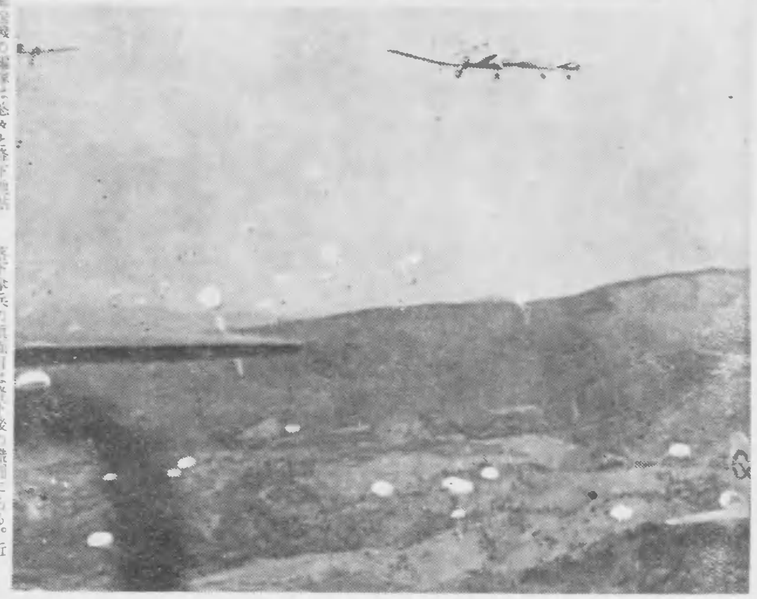
撮影　海軍省

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

空の神兵

映画『空の神兵』より

撮影　日本映画社



敵地深く、輸送機の編隊に悠々と降下地點に達した。高度五百メートル、純白の落下傘を空に降ち、わかますらをは天降る ⇨

落下傘兵の最前列は降下後の戦闘にある。近くに投下された兵器は早く武装をといのべるや、早くも果敢な攻撃に開始される ⇩

われ赫々の大戦果が全世界の驚異の的となつてゐる最最中の一月十一日、セレベス島メナドに海の、越えて二月十四日スマトラ島パレンバンには陸の神兵が突如天降つた。そしてその前回と戦果に世界の耳目を驚倒させたことは、いまなほ國民の記憶に新たなところである

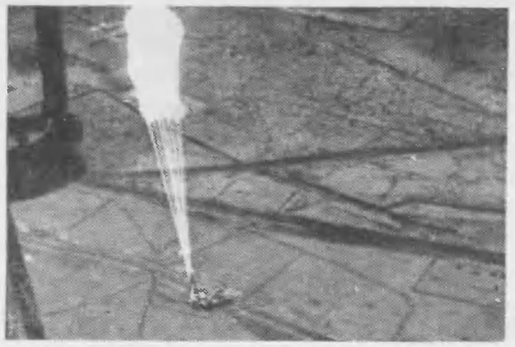
『やつたなあ、われ國にもこの用意があつたのか』國民のよろこびと喜びの音を他に、なほも戰々と血の滲むやうな猛訓練を續けてゐるわが陸軍落下傘部隊將兵の苦闘、それこそ自ら襟を正さずにはゐられぬものである。雷兵よく空中を掠身し、全軍に勉けて敵を撃破し、全軍戰勝の端緒を開く空の神兵の任務こそは、醜の御楯といでたつ、われら日本男子の最も榮誉ある任務ではなからうか

若人よ、空は君達を呼んでゐる

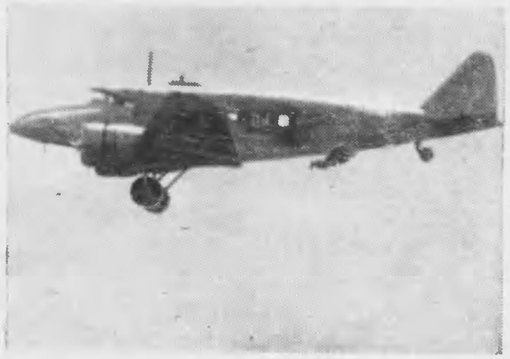
『降下用意』よし、といつたら飛び出すんだぞ

自分の落下傘に絶對の信頼をかけて——

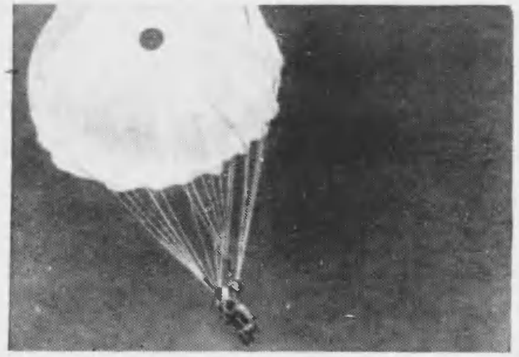
『よし』『よし』と叫ぶと神兵は次から次へと——



鳥のやうに落下する肉體にカクンと強い衝動



飛鳥のやうに虚空へ身を躍らせてゆく——

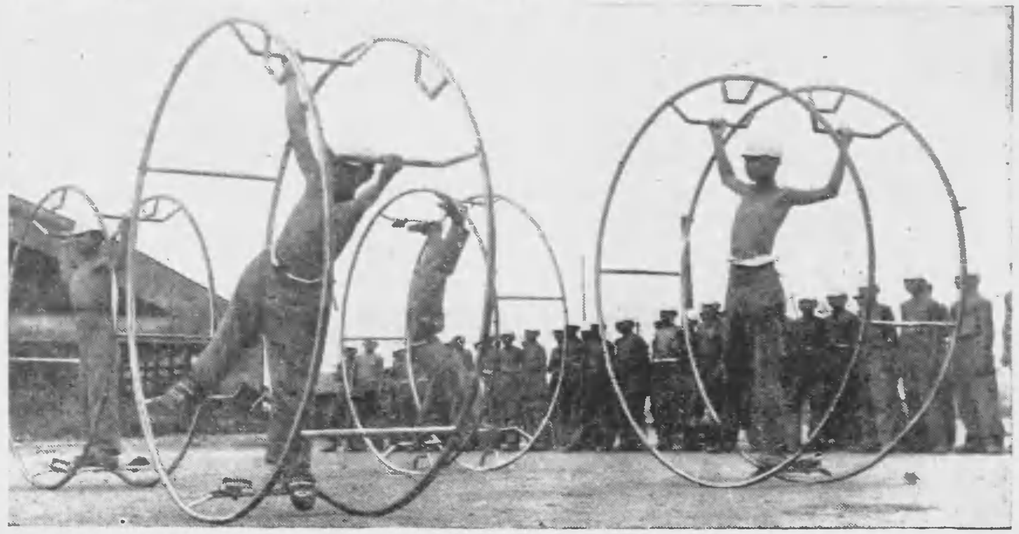


パッと見事に傘は開いた——

物凄い風圧に堪へ姿勢も崩さず敢然と

接地——衝撃を素早く殺すと右に左に戰友達が

⇦けふもまた若い主人によく仕へて翼を休める練習機、格納庫のたかには若鷹たちの明日への夢がたくさんつまつてゐる　撮影中島特派



⇦廣い運動場一杯に風が戯つてゐる。操縦に整備に、航空機と一體になることのできる日まで、この訓練は繰返される

九月二十日は第三回目の航空日てす

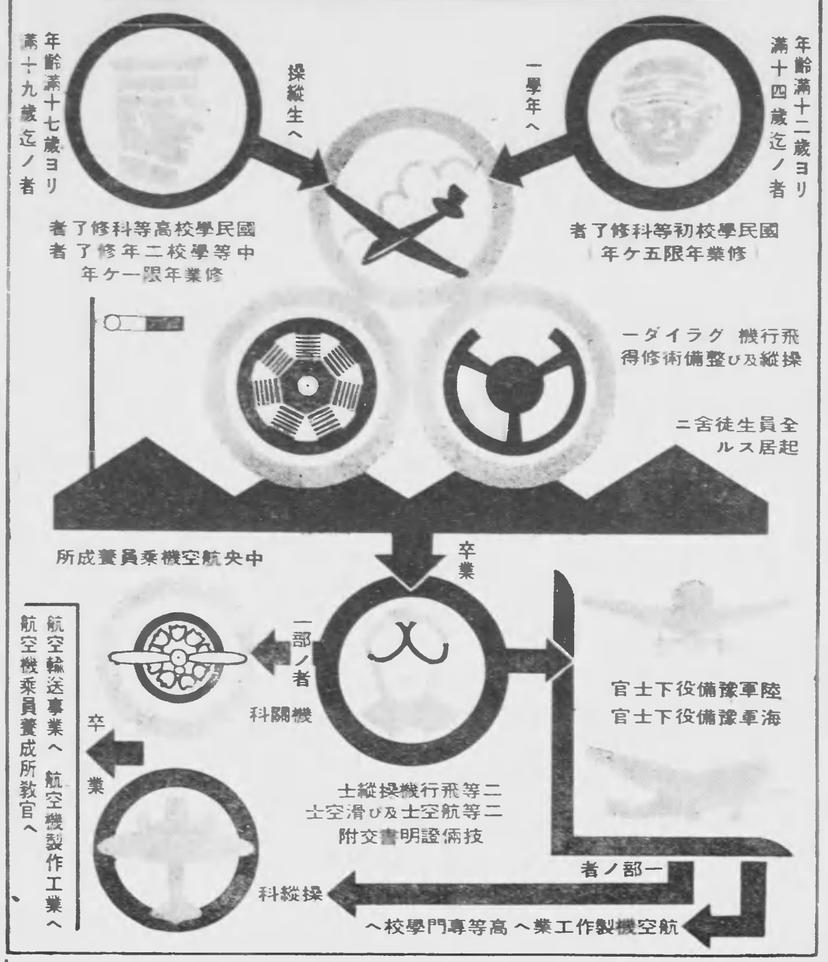
この航空日は諸君もご存知のそうに明治四十三年、陸軍の日野、徳川兩大尉が、歐洲から携へて歸つたグラーデ二十四馬力のファルマン複葉、グノーム五十馬力のグラーデ單葉を驅つて代々木練兵場で飛行してから數へて丁度三十周年に當る一昨年、はじめて制定されたものでした

この兩大尉の飛行以來、わが國でも官民の航空に對する關心は漸く盛んになり、特に各國空軍の急激な進歩は軍用航空の設備を促して、いまやわが陸海荒鷲の威力は眞珠灣の大奇襲をはじめ、マレーに、珊瑚海に、ミッドウェーに、近くはソロモンの大海戰に列强の目を瞠らせるところとなりましたが、一方、民間航空界にあつても戰前國産機『神風』號による東京、ロンドン間世界記錄の樹立をはじめ、『エッポン』號による世界一周飛行の成功、學生團『青年日本』號による訪歐飛行の完成、東京、バンコク間定期航空路、南洋航空路の開設など、國際的舞臺への躍進ぶりには實に目覺しいものがありました

しかしこの航空日は單にこれら過去の航空の事績を記念するためのものではありません。むしろこの日を出發點としてさらに偉大な航空日本を建設するための新らしい門出の日でなければならない筈です

いまや列國の航空界は文字通り日進月歩、どこまで伸びるか想像もつかない狀態です。この時、わが國としても到底現在の狀態をもつて足りとすることは許されません。いや、そこにはすでに米英のもつ航空工業力と乘員の養成力といふ脅威しなければならない大敵が控へてゐます。彼らの誇示する天文學的な數字は必ずしも一笑に付することはできないとしても、少つてわが國としてはいつ何時襲ふ

航空局　地方航空機乘員養成所



航空機乘員養成所の徽章

志願者案内

◇從來の中學、地方航空機乘員養成所は昨年四月から開設されたもので、埼玉、仙台、水戸、甲府、熊本、京都、古河、福山、福岡、愛媛、長崎の十一ケ所にありますが、民間航空機乘員の必要はいよいよその度を强めてきましたので、さらに增設擴充されることになつてをり、近く四ケ所を開設するべう準備中です

◇これらの地方航空機乘員養成所には國民學校初等科修了の年齢滿十二歳から十五歳までの者を一年生として採用し、五ケ年間の在學中に中等工業學校の課程に準じて、一般中等學校と同樣な學科を授けるほか、航空機の構造、整備、修理、滑空機、航空機操縱、航法などを修得させるものです

◇そしてこの五年間、生徒は全員生徒舍に起居を共にし、智育、體育、技術教育の全般にわたつて日本國民として、また航空日本の擔當者として眞にふさはしい練成が加へられます

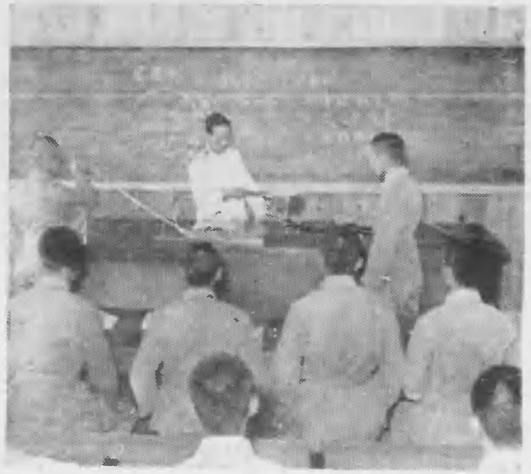
◇かくて卒業の曉には中等學校卒業者と同等の資格を認められるほか、一等操縱士、一等航空士、二級滑空士の資格が與へられ、逞しい若鷲となつて母校を巣立つた卒業生は、或ひは航空會社の操縱士、機關士として、或ひは航空工業技術者として航空界の各方面に進出してゆきますが、本人の才能に應じては陸海航空部隊の要員となり、また希望によつては高等工業學校へ入學し、さらに大學へ進むこともできます。なほこれらのなかから選ばれた者は千葉縣松戸にある中央航空機乘員養成所に入所して、さらに高等な教育が施されます

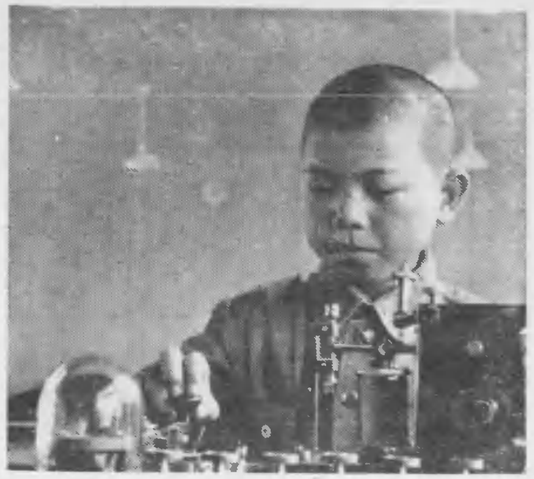
◇地方養成所に在學中の結與は極めて乏しくなりて、一切の修業に必要な費用は全部政府で支辨し、さらに月々若干の手當も支給され、醫療費も無料になつてゐます。しかし本養成所の建前から卒業生は卒業後五ケ年間、航空局長官の指定する航空業務に從事しなければなりません

◇地方航空機乘員養成所では目下全國に呼びかけて一年生並びに操縱生を募集中です。願書メ切は本年十月十日、志願者資格は一年生では國民學校初等科修了者で昭和三年四月二日から同六年四月一日の間に生れた者、操縱生では國民學校高等科又は中等學校二年修了者で大正十二年十二月二日から同十五年四月一日までの間に生れた者となつてゐます。なほ志願者は必ず志願者心得を參照せねばなりません。心得は各地の航空機乘員養成所、飛行場または全國郵便局にあります

情報局編
新航空國民讀本（週報叢書第十二輯）
この本は九月二十日の第三回航空日を迎へるに當り、國民一般、特に青少年諸君の航空思想を昂揚し、併せて航空知識の向上をはかるため、關係各廳の協力を得て作られたものです
附錄　米英主要爆撃機識別圖
（A1判オフセット五色刷）
九月中旬發賣
定價三十錢

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/





空は諸君を待つてゐる

⇦航空中學の制服姿もいつか板について、面會にきた父兄も誠に頼もしいやうになつたわが子、わが弟の凛々しい姿に目頭を熱くする

上右　無電の語る符號もいつか耳なれて、この學校はそのまゝ言葉として聞くことができるまでになつた

上中　航空科學の講義を聴く練習生たちの胸には、大空に向かつて自分たちの夢がくつきりと生きてゐる

上左　空の上から見下ろしたこともある中國地方の模型面白、米子の町はこゝにある

⇦彼等後の樂しいひとゝき。國民學校の教室で模型飛行機をうくつてみたあの頃思ひなつかしく、ふと思ひ出される

日本に出ようともビクともしない日本航空の實力をいやが上にも養つておかなければならないわけで、それには先づ航空力の擴充である。民間航空を早急に充實される必要があります。しかも廣義に二億五千餘万平方キロに及ぶ大東亞共榮圏が、いまや悉くわが日本の指導の下にあることを思ふ時、わが民間航空界はいまこそこゝで一段の飛躍を遂げなければなりません

かつて、『航空機は國力の示威運動である』といはれたことがありますが、いま試みに民間航空の用途について一瞥してみますと、その最も重要な方面である輸送連絡のはたらきを除いても、經濟方面では魚群の探見から害虫の驅除、山火事の巡視、牧場の監視、寫眞による測量、資源の調査と數へ上げれば遑がなく、また文化方面でも宣傳、報道、氣象の觀測、極地の探險と實に多種多樣であつて、しかもその利用範圍は今後ますゝ擴大されてゆく模樣です。現用民間航空機の性能は巡航時速三百キロ程度、航續時間六、七時間程度に過ぎませんが、やがて巡航時速四百キロ、航續時間十時間乃至二十數時間の飛行が可能となることも決して遠いことではなく、この快速力、航續力をもつ航空機を今後國運の發展のために如何に驅使するかはむしろ明日の課題となつてゐるくらゐです

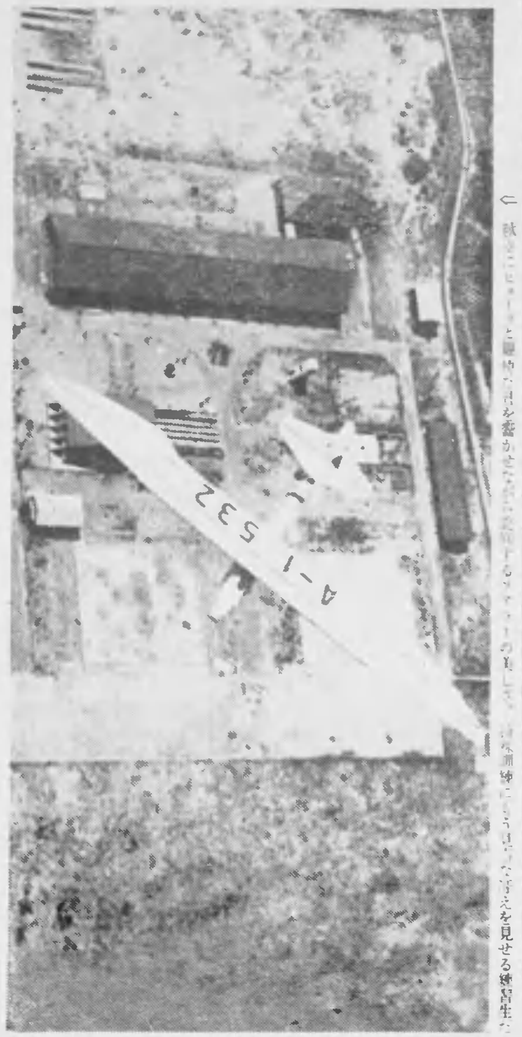
このやうに民間航空は一國の産業、經濟並びに文化の基礎であり、その增進力であるといへますが、大戰爭下の今日では何といつてもそれが空軍の母體となつてゐる事實を忘れてはなりません

戰爭の勝負に空軍が決定的な威力をもつてゐることはいはさらいふまでもなく、こんどの大東亞戰爭においてもわが陸海荒鷲の驚異的な活躍が何よりも雄辯にそれを物語つてゐます。しかしとの強力な航空兵力も民間航空の上空なしには斷じて建設されるものではありません。いゞどちらかといへば、軍航空と民間航空とが表裏一體となつて相共に一國の航空勢力を形成してゐるといつた方が適當でせう。現に各國の民間航空を見ればわかるやうに、それは即ち假裝された航空兵力に外ならず、その差は紙一重といつても言い過ぎではありません。その證據にはこれまでも事あるとき、旅客機から爆撃機への改造は掌をかへすやうに、直ちに戰線への出動をみてゐるではありませんか。その場合、民間航空に充用される飛行場、航空機及び乘員が、そのすべてをあげて用兵作戰に動員されることは商船が軍艦に早變りするよりも遙かに切實であるといへます。まことに敵を空から壓服するだけの乘員と航空機とを量、質ともに保持してゆくためには、第一線に立つ航空部隊の背後につねに尨大な航空據備軍が存在してゐなければなりません

航空局では、はやくから今日あることを豫期して、航空機乘員の養成を行つてきましたが、昨年ついに中央一ヶ所、地方十一ヶ所の航空機乘員養成所を開設し、この國家の要請に應へて豫備空軍としての民間操縦士の大量養成にいま本格的な努力を傾けてゐます

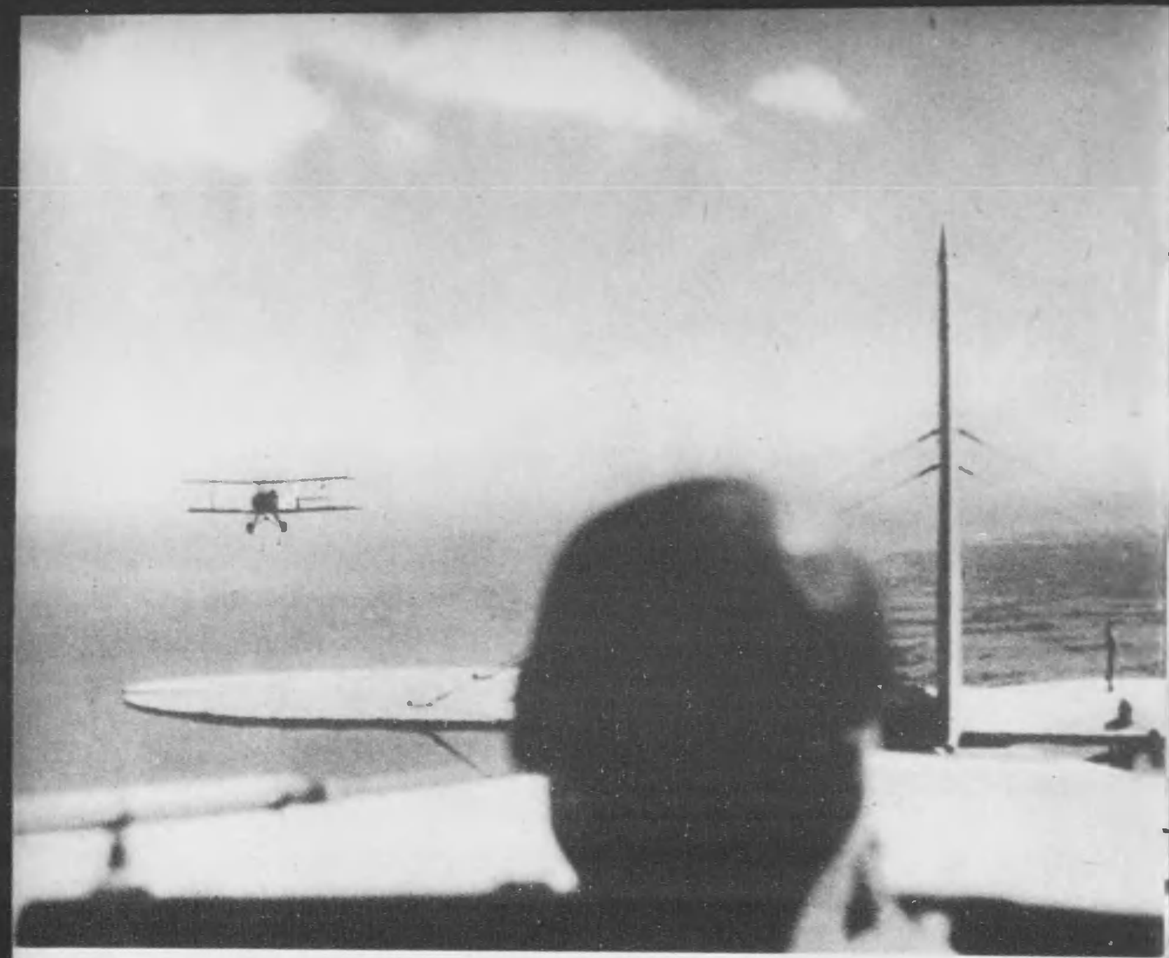
顧みれば、前大戰五年間は世界航空界の劃期的な躍進を遂げた時代でした。これによつてみても、こんどの大戰がそれに幾倍、幾十倍した進歩を約束するかは容易に想像することができませう。大きの時代こそまさしく空の世紀であり、同時にそれは日本の世紀でなければなりません。偉大な航空日本の建設へ、愛國の熱誠に燃ゆる諸君はいまこそ起つてこの名譽ある任務に加はらうではありませんか

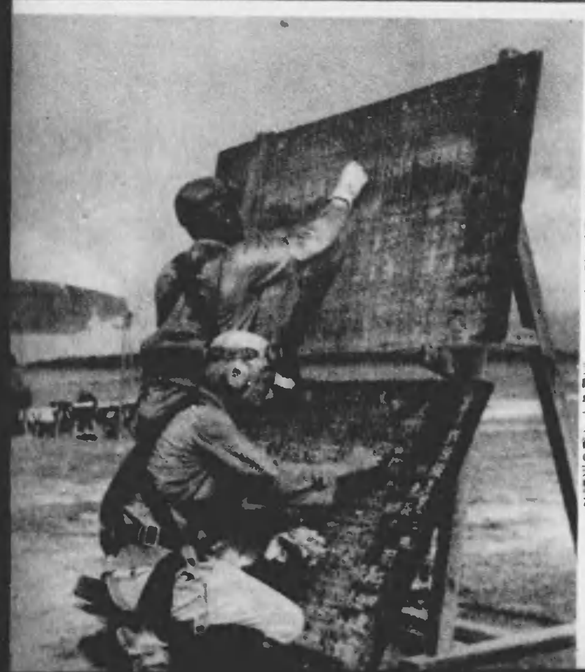
これは鳥取縣米子にある地方航空機乘員養成所で、大空を求めて羽搏く練習生たちの勇姿です



⇦航空機にはじめて接した練習生たちの眼に、はつきりと輝かしい希望を露かせたこの頃の姿を見せる練習生たち

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



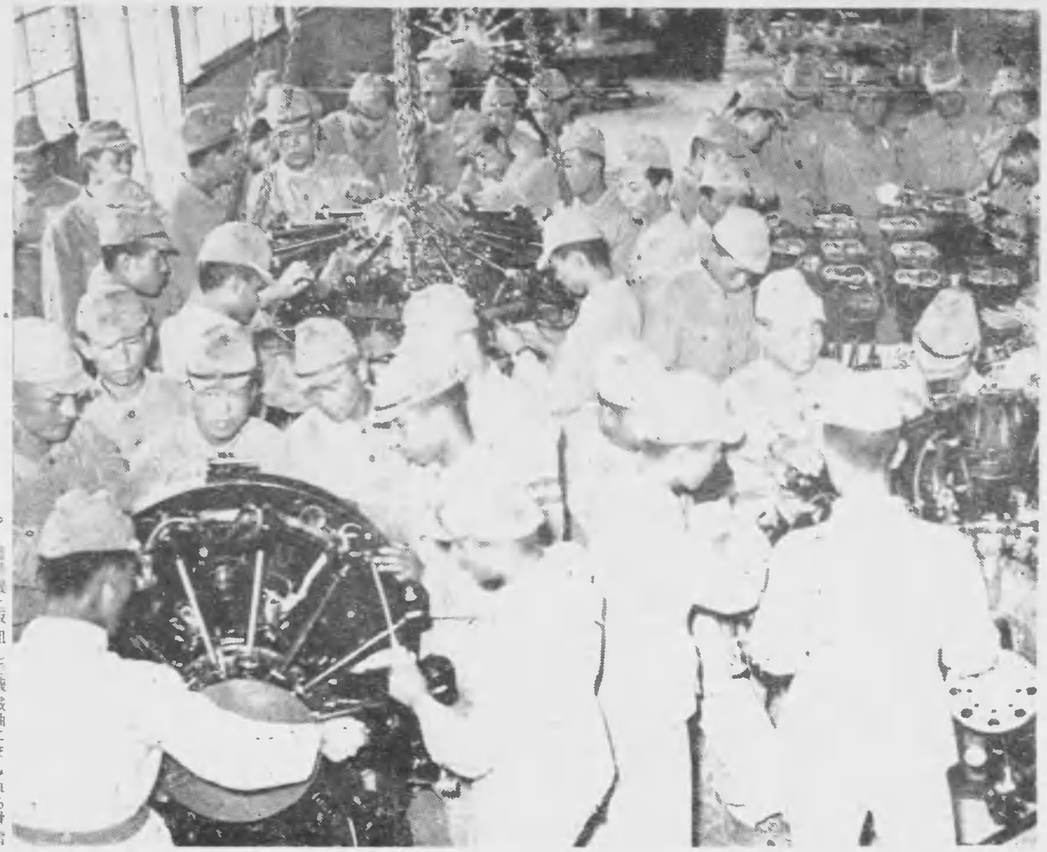


⇧ 生れて初めてあこがれの空をひとりで飛ぶことのできる感激。學科に體育に地上訓練に重ねた血のにじむ勞苦もみな今日のためだつた

⇧ 機燈管によつて同乘者と連絡をとる機上の若鷲。一碧の秋空に爆音をふり撒いて快翔がつゞいてゐる

⇧ 大空を心ゆくばかり飛び廻つて歸つてきた練習生は、搭乘狀況を黑板に記入する。もう天晴れ一人前の若鷲だ

空は諸君を待つてゐる



⇧ 整備員と取組んで機械油にまみれる練習生。優秀な地上部隊を生み出す整備教室だ

⇧ 黑い整備場は今日も夜看に暮れてゆく。明日も人氣の練習生たちの黑い影が、赤い夕映のなかに輝のそうだ

⇧ 翼を組立てる練習生たちの眼は一日も早く飛びたい、おもひで一杯だ。やがて完成した機翼を眺める彼らの喜びはまさしく大にも上つた氣持であらう

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

⇧ 輸送機の間隙がどしどし出来あがつた

月産100機

陸軍新鋭爆撃機製作工場

全國のわが航空機製作所では、どこもかしこも工員が汗によごれ油にまみれて製作に懸命だ。爆撃機が、戦闘機が、輸送機が次々と出來てゆく。ひと度、荒鷲の手足となつて空に征けば、向ふところ敵影はない。荒鷲の技術と製作の優秀さが兩々相まつて敵米英の空軍をたゝきつぶしたのだ。だが、それで終りではない。月産四千機、五千機を豪語するアメリカだ。負けてはならない。アメリカも造らば造れ、イギリスも造らば造れ、だが俺たちはそれ以上にうんと造るぞ。アメリカの工場と俺たちの工場との戦争だ。職場と職場の戦ひだ。頑張るぞ、頑張るぞ

⇦ 一本のネヂも丹念に、組立作業が完了してゆく

⇨ 金型製作が全入りに取りつけられた

撮影 陸軍航空本部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

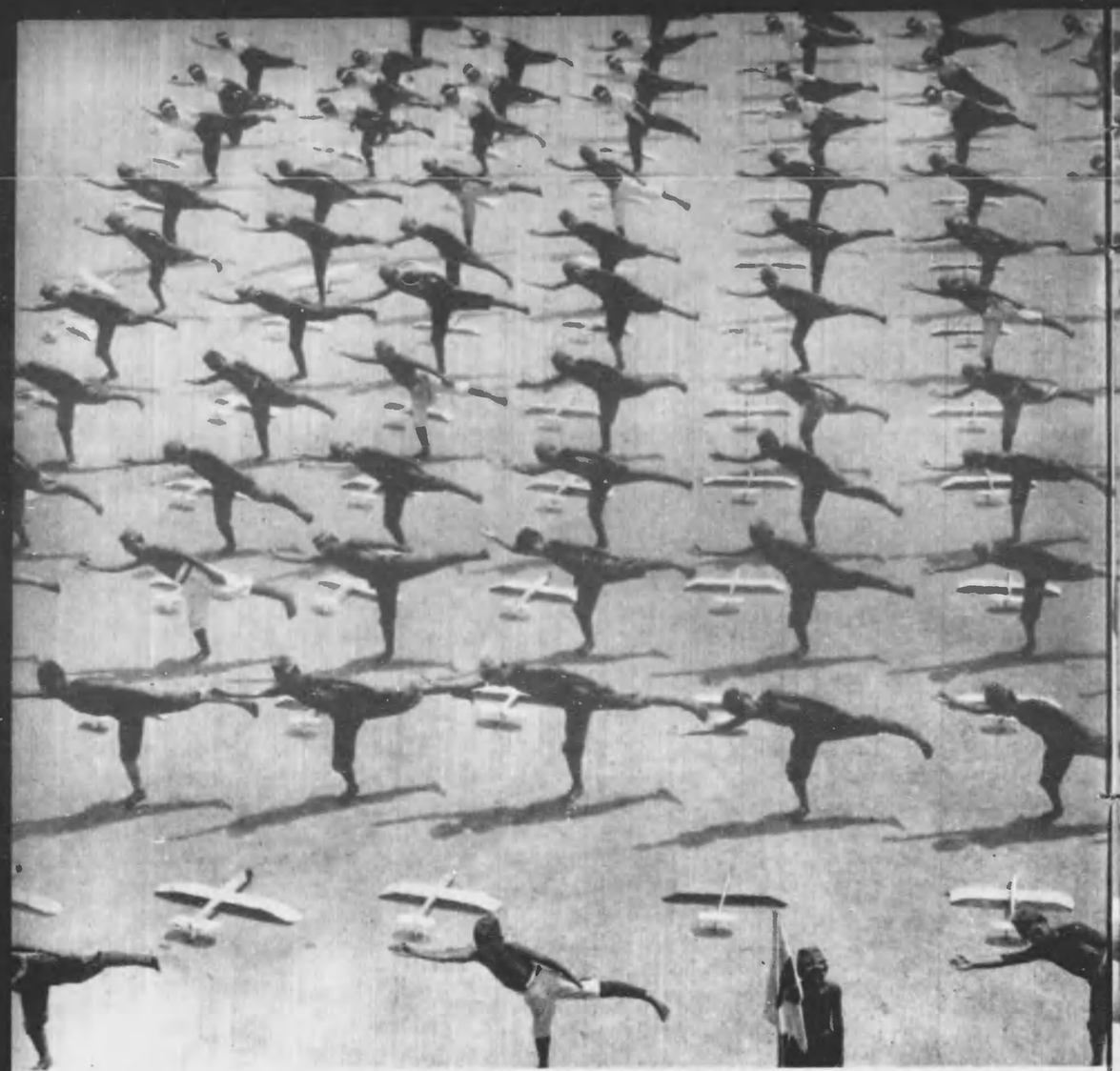
あとの空は僕らで引受けよう

大阪府布施市青少年團の航空訓練

空の軍神加藤少將は『後の空をしつかり頼みますソ』と、少國民諸君の双肩に大きな使命を託しながら、ペンガルの洋に散華されました。『さうだ、空へいかう』この憧れをやがて大空に巣立つ決意に育てあげ、軍神がのこされた大東亞の空をしつかり守らうではありませんか

こゝに紹介したのは、大阪府布施市青少年團の水際立つた航空訓練の一部です。この青少年團の訓練は、航空訓練に限らず、その組織立つてゐること、周到なことなどで全國に有名ですが、さきに大阪府の主催で『全國青少年團指導者大會』が同市に開かれた時も、同團の見事な錬成ぶりが公開されて、全國指導者に深い感銘をあたへました。

さあ、僕たちも、先生方や先輩の指導に從つて負けずに空への憧れを鍛へあげてゆきませう



⇧一糸乱れぬ爽快な滑空訓練

⇧實際の飛行機について、航空の理論と機體の構造を學ぶ少年たち

幼い科學する心を養ふとして輕飛滑空機の製作⇧ 撮影 中瀬 敦

⇧モンペ姿も頼もしい女子模型飛行機隊

⇧やがて航空機に通ずる道、自動自轉車隊の訓練

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明朗ページ

ビルマ戦記

陸軍省監修　日本映画社製作

ビルマ作戦は英国のビルマにおける軍事拠点を覆滅し、支那事変解決の病たる米英の援蒋通路を遮断し、併せて多年英勢力の下に搾取と暴政に呻吟してゐたビルマの解放と再建のために行はれたもので、大東亞共榮圏建設戦の一段階として極めて重要な意義をもつものである

映画『ビルマ戦記』は、言ての英米侵略の實狀の描寫に始まり、ビルマ作戦における皇軍の言語に絶する苦難と奮戦によつて得られた輝々たる戦果を中心に、皇軍を心から信頼し協力するビルマ民衆の姿と、更に大東亞共榮圏の一環として新たなる發足をしたビルマの動き、輝かしい黎明を迎へて謳歌する新生ビルマの表情を生々と傳へるものである

⇧ 模型航空機の指導者たち

山形市　田中　順一

圖をあげて空へいかうと叫ばれてゐるとき、明日の航空日本の指導者を指導する國民學校の先生たちに先づ航空機の正しい知識を、山形縣ではこのほど五日間にわたる模型航空機指導者講習會を開いて航空教育の振興に拍車をかけました

⇧ 學生島人の訓練大會 ⇩

長野縣　三橋　俊次

第三回航空日を前にして八月八日から三日間、長野縣富ケ嶽高原で開かれた全日本學生滑空大會は各大學、高專の學生島人百八十餘名による綜合的訓練を繰展げて、わが國民航空の意氣を遺憾なく發揮しました—

復習室

本誌からあなたは何を學んだでせうか？

1 日本航空史の第一ページを飾つた二人の軍人さんがあります。誰と誰でせう？（13頁）

2 九月〇〇日は航空日です（1頁）

3 セレベス島のメナドとスマトラ島パレンバンにわが陸海落下傘部隊が天降つた。陸軍はどこへ下りたのでせう？（10頁）

4 わが國の民間航空界はこれまでに五つの輝かしい金字塔をうちたてました。數へてみて下さい（13頁）

5 わが作戦地帯戒嚴の最尖端を受持つものは——戦艦？　駆逐艦？　飛行機？　監視船？　潜水艦？　特殊潜航艇？（3頁）

6 現用民間航空機の巡航速度はどれくらゐでせうか——百キロ？　二百キロ？　三百キロ？　五百キロ？　七百キロ？（14頁）

7 軍神加藤少將の愛機は新設戦闘機「〇」でした（4頁）

8 民間航空機の轉換方面における用途について知つてゐるだけ挙げてご覧なさい（14頁）

9 カーチスP—40はどこの戦闘機ですか？（4頁）

10 航空局の地方乘員養成所に入りたいと思ひますが、どんな資格が必要でせうか？（12頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか？

お斷り

連載中の『マレーの伊號』は航空日特輯號のため休載いたしました

海軍報道部寫眞の複寫複製は海軍省承認濟（第五二四二號）

大東亞戦爭漫畫日誌

石川　進　介

米國ドンイ騎兵で火事泥を懲く

中國へ蔣特使特使三氏決定

ドンイ國督戦司令官を

大東亞省設置決まる

北阿戦線に現れ新戦攻撃開始

ウイルキーに電報的態をきはむ

僕は航空母艦の艦長

志村つね平

⇧ 鉢頭さん、息子の荒驚然に大満悦『俺には出來すぎた子供だわい』

⇧ 無色透明な飛行機で

杉　柾　夫

全部ガラスで出來た無色透明な飛行機を造つてみたいなあ。アメリカの空まで飛んで行つて、中々發見されない。そとをいきなり彼等の頭上に出たら、敵はきつと肝をつぶすよ

僕らのために小型飛行機

筑摩徳平

⇧ 偽型飛行機を造つたり飛ばせたりする外に小型飛行機の練習がしてみたいなあ

⇧ 敵の都へ突入したい

森熊　猛

物凄い航續力のある爆撃機でアメリカを襲撃し、咨つてきた敵の戦闘機を片つ端からたゝき落し、最後に敵の大將達がかくれてゐる廨大壕に爆彈をたゝき込んで一度にやつつけてやりたい

⇦ 全滅戦術

小泉　紫郎

落下傘で敵陣へお菓子や慰藉を落してやる。喜んだ敵兵の敵兵がこれを拾つて食べたりのんだりしたら、これには強力な火藥をつめておきます

寫眞週報（禁轉載）

昭和十七年九月十六日印刷發行

編輯者　情報局
東京市麹町區永田町一ノ一

印刷者　内閣印刷局
發行者　東京市麹町區大手町

定價
一部十錢（送料一錢）
（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）
▲豫約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい
▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所
全國各地官報販賣所
書店・驛賣店
新聞販賣店
寫眞材料店

本誌を戦地にお送りになる場合には送料は内地と同様に需用あるひは開封にして第種と明記すれば一部一錢です

★表紙

ムク〳〵と後から後から湧き出る積亂雲はわが海鷲の決行を阻むやうに滿地の上空を覆つた

しかし敵機現はるの報に見敵必殺のわが戦闘機隊は『斷』の下、自然の障碍を突き破り一機また一機南の空に飛び立つてゆく

撮影　石毛海軍報道班員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

官報週報
昭和十一年一月十一日第一種郵便物認可　昭和十七年九月十三日印刷納本　毎週　土曜日発行　一部　百四十銭

内閣印刷局印刷発行

（判型週報・A4倍規定版はさら大の書本）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/